

女子高だよりは女子高の“今”を皆さまにお届けします

夢叶う !!

地歴公民科（生徒部）：岩田文恵

『学研まんが人物日本史紫式部』（監修：樋口清之／まんが：さかぐち直美）。これは、小学校5年生の時に、地元にあった広瀬ショッピングセンターの本屋さんで母に買ってもらった本です。この本を手にとった時の“ビビッと”感は今でもはっきりと覚えています。紫式部の生涯や、彼女が著した『源氏物語』の一部（桐壺・夕顔・若紫）が描かれており、その世界に心の底から魅了され、数えきれないほど繰り返し読みました。そしてこの本との出会いをきっかけに、「歴史ってなんて面白いんだろう !!」と、様々な歴史の本を読むようになりました。それから40年近くの歳月が経過し、この本を買ってくれた母も、この本を購入した広瀬ショッピングセンターの本屋さんもなくなってしまいましたが、今でもこの本は私のそばにいます。この一冊の本との出会いが、それ以降の私の人生（＝絶対に歴史を勉強する !!）を決定付け、現在（＝高校で歴史の授業を担当する）に至っています。

そして、この本との出会いをきっかけに、これまた40年近く思い続けてきた私の夢がありました。その夢とは“紫式部や藤原道長（ルイ14世に並んで私が見たい歴史上の人物です）の生涯、摂関政治全盛の平安時代を描いたドラマを観たい !!”というものです。令和6年、遂にその夢が叶いました !! その夢を叶えてくれたのは、1月から始まったNHK大河ドラマ『光る君へ』です。これまでも『源氏物語』や道長を題材にした映画やドラマはたくさんありましたが、正直どの作品も、紫式部や道長に思い入れがありすぎる私にとっては納得のいくものではなく、平安時代をドラマとして再現するのは難しいのか…と諦めていました。しかし、この『光る君へ』は、『大鏡』『栄花物語』『枕草子』『御堂閔白記』『小右記』『権記』から引用された場面設定や台詞の数々、配役の妙（私のイチオンは一条天皇）、場面場面にあった舞台セット・美しい音楽…と、どの角度から切っても本当に素晴らしく、『光る君へ』が放送される日曜日の夜が楽しみで楽しみで仕方ありません。

『光る君へ』…私の夢を叶えてくれてありがとう。

追記

8月20日、帰宅時に車から見た満月に感動しました。『光る君へ』では“月”が効果的に使われています。満月を見るたびに、「この世をば～」の和歌とともに、1000年前に生きた道長に思いをはせる私があります。

住所 松江市西尾町540番地1
TEL 0852-39-0216（事務室）
0852-39-0217（職員室）
FAX 0852-39-0829

発行元 松江市立皆美が丘女子高等学校

URL <https://minamigaoka-girls-hs.matsue.ed.jp/>



第71回 皆美が丘祭

勇気凛々～それいけ!!輝く素敵女子～



食物手芸部作品展示
「フラワードレス」



美術部による黒板アート

キッチンカー・PTA販売



8月29日（水）～8月31日（金）の3日間、第71回皆美が丘祭が行われました。年に一度の一大イベントということもあり、生徒会執行部や3年生を中心にとっても盛り上がった3日間でした。



文化祭2日目は島根県民会館で吹奏楽部、ダンス部の発表、生徒会作成ムービー上映、生徒会によるエイズ啓発活動の発表、有志による Girls' Project（ダンス、歌、バンド演奏）が行われました。

学園祭最終日、体育祭の様子です。
3年生にとっては最後の体育祭ということでの色も気合が入っていました。



9月11日（水）、3年生保育教育エリア12名が、「生活と福祉」の授業の中で「救命救急法」を学びました。日本赤十字社島根支部の方より、講話を交えて実践方法を教わりました。

